

鳥取東高通信

題字：柴山 抱海氏

第180号
令和2年3月

編集・発行
鳥取東高等学校 PTA
鳥取県立鳥取東高等学校
印刷 日ノ丸印刷株式会社



3年間の思い出



「幸せの秘訣」

校長 尾室 真郷

ご卒業おめでとうございます。

本校を巣立ちゆく今日。大切なみなさんへ伝えたいことがあります。これからの人生で悩んだり立ち止まったりしたときにぜひ思い出してほしいことです。

「人は皆生まれながら封書もらっている。それを開封すればそこには自分のこの世における使命が書かれているのだが、残念ながら開封しない人が多い。」私が常に心に留めている森信三氏の言葉です。仮に、生まれたときに既にその人だけの「真実」を授かっているとすれば、その「真実」を発揮していくことが人に課せられた使命だということになります。「真実」を発揮して生きることが、「自分の花を咲かせること」であると言えるのではないでしょうか。

昔ある人に次のような寓話を聞いたことがあります。オリンポスの神々が集まり、「幸せの秘訣」をどこに隠したら、人間がそれを見つけたときに最も感謝するかということ話を合っていました。「高い山の上がいい」、「深い海の底がいい」、「地中深く埋めるのがいい」と議論はまとまりません。そ

のような状況の中で、一人の神が「人間の奥深いところに隠すのが一番いい」と言いました。すると、そこにいたすべての神がその意見に賛成し、「幸せの秘訣」は人間の心奥深くに隠されることとなりました。だから今でも「幸せの秘訣」は人々の心の奥深くにあるということです。一方で、この「幸せの秘訣」は心の奥深くに隠されているが故に、気づかぬままにその人生を終えてしまう人も少なくないということになっています。果たしてどのようにすれば「幸せの秘訣」に気づき、自分の花を咲かせることができるのでしょうか。

それにはまず、自分の命の尊さに目覚めることだと思います。自分がここにいるのは両親がいたからであり、その両親にもそれぞれの両親があり、それが連鎖と続いて、今自分はここにいる。どこかで組み合わせが変わっていたら、あるいは途絶えていたら、今ここにこの自分は存在しない。自分の命は決して一人だけのものではないという自覚。この自覚こそが自分の花を咲かせる土壌になるはず。卒業していくみなさんには、いつの日か自分の花を咲かせてほしい。その途中にはうまくいかないことや困難があることでしょう。どうにもならないように感じるその時に、何気ない日常に、まず自分の命を思ってほしい。頑張っている生きていれば、生まれてきてよかったと思うことに必ず出会わずにはいけません。これはまた「夢実現」を掲げてみなさんと3年間を過ごした高橋先生のメッセージとも重なるはず。高橋先生もみなさんの成長した姿をずっと微笑みながら見守っていらっしゃるでしょう。

高橋先生とともに私もみなさんの卒業を心から祝福します。



学年長
高橋 祐樹 先生

夢実現



将来の夢は何ですか。その夢を実現させるための努力をしましたか。

夢実現 ～ FINAL Stage ～

- ・覚悟。そして挑戦！ ・夢実現と社会に出て愛され親しまれ信頼される人間力
- ・最後まで、逃げない・諦めない・妥協しない ・結果にcommit

鳥取東高で過ごした3年間の集大成。真剣勝負は、真剣な稽古からしか生まれない。勝負するのは自分自身。すべては個々の意識、個々の取り組みです。個々の意識と取り組みがこの学年全体に浸透し戦う集団になることを願うばかりです。一日・一時間・一分を大切にしながら。(学年だより 3年第1号より、一部を変更)

「僕らはきっと想像以上だ」の言葉通り、いやそれ以上のみんなの力をみることができうれしさと頼も

しさを感じながら、鳥取東高校での学校生活の幕を閉じました。 ・一生懸命やっていると自信が持てる。 ・一生懸命やっていると協力してくれる人ができる。 ・一生懸命やった結果なら諦めがつく。 ・一生懸命やったから泣きたくなる。 ・一生懸命やっていると怒りたくなる。 ・一生懸命やったから思いつき喜べる。 ・一生懸命ってかっこいい。 想像以上の力を見せてください。やればできるんだから！ みんな、それだけの力を持ってるんだから!!

(学年だより 1年第7号より)

《1年から3年までに高橋先生が書かれた「学年だより」より転載》



ご卒業おめでとうございます

「夢実現」に向かって、まっしぐらに青春を駆け抜けた3年間でした。新しいものや面白いものが大好きな学年主任のもと、これまで多くのユニークな学校行事を企画し、担任の先生方の誕生日やポッキーの日でもお祝いしてきました。笑って泣いて、驚いて感動して…大忙しでしたが、毎日が楽しかったです。

「三兎を追う」この言葉を赴任して初めて聞いたときは、夢物語だと思いました。求めすぎだと。でも、この3年間で、私の目の前で、みんなは成し遂げました。本当に立派でした。すべてに全力なのが東高生ですが、やはり大変だったと思います。悩み迷い、時に涙する姿もたくさん見てきました。しかし、それらを乗り越えて、三兎を追ってきたからこそ得た東高生としての誇りと自信はかけがえのない一生の宝物です。それらを胸に、どうか、たくましく新時代を生きてください。強く、賢く、そして温かいこの学年と3年間一緒に過ごせて本当に良かったです。この先もずっと変わらず応援しています。また、どこかで。



1組担任
平木 章子 先生



2組担任
中野 志保 先生



卒業おめでとう。そしてありがとう。

切にしてほしいと願っています。

鳥取東高での全ての出会いが、それぞれの人生においてあなたたちを照らす光になっていると思います。もちろん、みんなの存在は私にとって光でした。前を向いて歩み続ける姿に勇気づけられていました。

自分を大切に。生きているだけで素晴らしい。自分の可能性を試す旅に出かけてください。また会いましょう！

東高の仲間 vol.3

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。月日が経つのは早いもので、君たちと出会った3年前の春が、ついこの間のこのように感じられます。スキー実習に研修旅行、東高祭や球技大会、いろいろとありましたね。みなさんにとって、きっと思い出深い3年間であったことと思います。

私は東高に赴任してから3年生の担任をしたのは、これが3回目となります。なので、この文章を書くのも、これが3回目となります。そして、3回目の君たちにも、過去の先輩に贈った言葉をそのまま贈ろうと思います。

東高で出会った仲間を大切にしてください。くだらない話で盛り上がった、つまらないことでケンカした、そんな仲間を大切にしてください。生きていれば、誰でも壁にぶち当たるときがきます。こんな人生、もういやだ!と思うときも来るでしょう。そんなとき頼りになるのが、他でもない東高で出会った仲間だからです。

これからの長い人生、いつかきっとこの意味が分かるときがくると思います。その日のために、みなさんにこの言葉を贈ります。

またいつかどこかで会えることを楽しみにしています。出会ったときに、「先生、あの言葉の意味わかりました!」と言ってもらえたら、なお嬉しいです。これがみなさんに伝える最後の言葉です。頭の隅に残しておいてくださいね。



3組担任
松田 浩 先生

ご卒業おめでとうございます。

今年で20年目を迎えた教員人生で、2回目の担任としての3年間持ち上がりでした。こんな貴重な経験ができてうれしいと同時に、与えられた責任も強く、プレッシャーに押しつぶされそうなこともありました。最近では、クラスの全員が不合格になるなんていう悪い夢も何度か見ます。(こんな不吉な話でごめんなさい。) そんな時でも元気づけられたのが、授業中学生とやり取りすることや、学校祭などで生徒が頑張る姿を見ることでした。そんな僕は、改めて幸せ者だと感じました。

私たちは人間です。それは、「人」の「間」にいるからです。喜びも悲しみも人の間にはじめて味わえるもので、実は自分1人では喜怒哀楽はあまり感じません。みんながいたからこそ、僕もいろんな感情を得ることができました。それだけで、みんなの存在意義が十分にあるように思います。それを実感しながら生きている僕はとても幸せ者です。みんなが幸せを与えてくれました。わずかながらでもそういう幸せを僕がみんなに与えられたなら、さらに僕は幸せ者です。

出会いに感謝! みんなの人生に幸あれ!



4組担任

富林 紀之 先生

悲しみの果て



5組担任

山口 優介 先生



ご卒業おめでとうございます。

みなさんはこれから社会に出ていきます。もちろん、出ていくだけではなく、社会を作り上げていく一員として生きていくことになります。昨年度末の学年便りに書きましたが、私は、日本の未来のために高校教師をしています。これからの社会は、みなさんが作り上げます。私は、みなさんに教育する機会を得て、その社会づくりの一端を担っていると思っています。みなさんには、これまでの学校生活で培った大きな力があります。その力を信じ、他者と力を合わせながら、新しい社会を作り上げていってください。

新しい社会を作り上げていくために必要なことは、喜びや楽しさ、幸せに敏感であることだと思います。自分の喜びにも他者の幸せにも敏感な人が、新しい価値を社会に生み出せるのだと思います。

では、喜びや幸せに敏感な人とはどのような人なのでしょう? 私は、悲しみや苦しみに敏感な人だと思います。悲しみや苦しみに敏感な人は、きっと自分の喜びにも、他者の幸せにも敏感に気づき、共有できると思います。だからこそ、みなさんには、これからの人生で待ち受けているであろう、悲しみや苦しみから決して逃げることなく、立ち向かい、乗り越えてほしい、そう思える強い心をもって生きてほしいと思います。

「悲しみの果ては、素晴らしい日々を送っていこうぜ」私の大好きな歌のフレーズです。みなさんには素晴らしい日々がきっと待っています。次、会う時には、その素晴らしい日々話を聞かせてください。



ご卒業おめでとうございます。

4月に君たちと出会って今日まで、たくさんの喜びと大きな悲しみを共有し、時に勢いよく、時に無理やり背中を押しながら駆け抜けた11カ月だったように思います。いつも明るく、素直で優しく、個性が豊か過ぎて時々困らせるけど、いざという時に力を発揮する君たちの姿に、何度感動したことか。高校生活3年間の集大成の年に、担任として関わることができ、とても幸せでした。今日、『夢実現 FINAL Stage』に幕を閉じるわけですが、これから先も君たちの『夢』は続いていきます。3年間君たちを導いてくださった学年主任の高橋先生の好きな言葉である『夢実現』を胸に、様々な事に挑戦してほしいと思います。

君たちが生きていくこれからの社会は予測不能であり、100%安泰な道などありません。しかし不確実であるがゆえに、自由な発想や柔軟な思考により、チャンスに満ちた社会になると思うのです。一定先に社会に出る人も、手に職をつけるために学ぶ人も、さらに高みを目指して挑戦する人も、進学して学問の世界に入る人も、それぞれの場所で今以上に力をつけて、他の誰のものでもない自分の未来を切り拓いてください。君たちの5年後、10年後、その先の未来が、幸せなものであってほしいと心から願っています。



6組担任

浅田 有希 先生

理想さえも超えて行け



7組担任

宮脇 進 先生



桜花の中、入学したみなさんが、梅香の中での卒業おめでとうございます。鳥取東高校に赴任して十数年になりますが、3年間持ち上がったのは初めてで、私も感慨深いものがあります。生徒のみなさん、本当にありがとうございました。さて、娘が好きなアニメの主題歌の歌詞です。

何でもできる。何でもなれる。 輝く未来を抱きしめて! 何でも起こすよ、きらめく奇跡。

輝く未来を繋いで。 「叶えたい」より「叶える」私なんだ。

しゃっきり手を伸ばして、精一杯頑張ろう。豪快に凹んだって、曲げない強さ、友情をはぐくんで。

信じる気持ちが、明日の自分を育てていく。出来ることを集めたら、勇気・無敵。

限界を乗り越えよう! 輝く未来を... つかもう!!

このような鳥取東高校での高校生活であり、今後の人生が夢に向かって、どのような困難にも立ち向かっていける皆さんであってほしいと思います。そして、鳥取東高校卒業生であることを自信に、頑張ってください。

入学当初より生徒のみなさんには、「ニーチェの言葉」を伝えてきました。最後までニーチェで締めくくりたい。『ひたすら進め』 世界には、きみ以外には誰も歩むことのできない唯一の道がある。その道はどこに行き着くのか、と問うてはならない。ひたすら進め。『理想さえも超えて行け』 きみの力のすべてを、きみはまだ知らない。きみは理想を抱き、そこへ向かっているが、その理想のある場所がきみの限界地点でない。きみが持つ力はきみが想像する以上に大きく。きみはまだまだ遠くへ行けるのだ。きみの理想を超え、それ以上の憧れの地よりもさらに遠くへ達する力をきみは秘めている。



1年生

冬季 高原教育



1年生は、2月5日～7日の3日間、
冬季高原教育で氷ノ山へ行ってきました。

奇跡のスキー合宿

1年5組 西山 百合亜

今年は例年になく暖冬でスキー合宿を実施できるか心配されていましたが、無事に実施することが出来ました。正直これは奇跡だと思います。この奇跡のようなスキー合宿は一瞬のように感じました。

初日はほとんどの人が久しぶりのスキーだったと思います。私も久しぶりだったので不安でしたが、インストラクターの方の支えもあり、だんだんと不安がなくなり楽しむことができました。二日目は一日目よりも多くの時間を滑れました。この日だけで斜滑降を習得することができ、よりスキーが楽しくなりました。私のクラスでは夜のレクリエーションで花火をしました。冬に花火と季節は矛盾していますが、雪と花火のコントラストはとても綺麗で素敵でした。夜は班のみんなとUNOをしたり恋バナをしたりして盛り上がりしました。

この三日間はクラスのみんなとより深く交流することができたと共に、スキーの楽しさ面白さを実感し、スキーの腕も上達した幸せな時間でした。一瞬で過ぎていったこの時間は一生の宝物です。



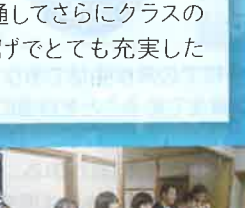
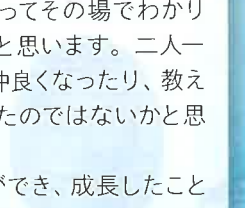
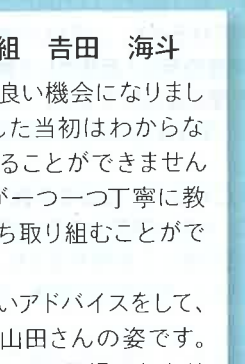
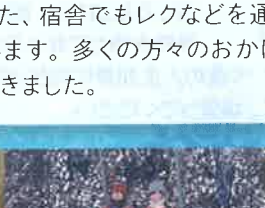
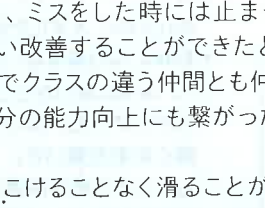
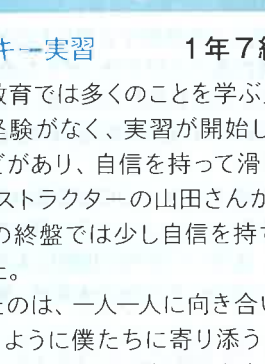
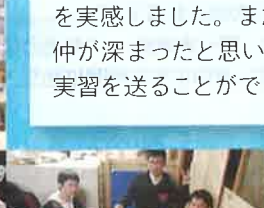
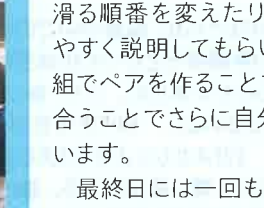
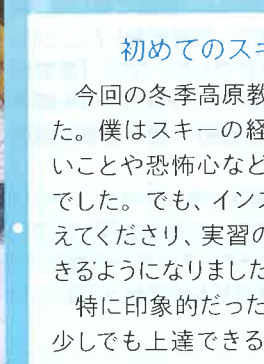
初めてのスキー実習

1年7組 吉田 海斗

今回の冬季高原教育では多くのことを学ぶ良い機会になりました。僕はスキーの経験がなく、実習が開始した当初はわからないことや恐怖心などがあり、自信を持って滑ることができませんでした。でも、インストラクターの山田さんが一つ一つ丁寧に教えてくださり、実習の終盤では少し自信を持ち取り組むことができました。

特に印象的だったのは、一人一人に向き合いアドバイスをして、少しでも上達できるように僕たちに寄り添う山田さんの姿です。滑る順番を変えたり、ミスをした時には止まってその場でわかりやすく説明してもらい改善することができたと思います。二人一組でペアを作ることでクラスの違う仲間とも仲良くなったり、教えることでさらに自分の能力向上にも繋がったのではないかと思います。

最終日には一回もこけることなく滑ることができ、成長したことを実感しました。また、宿舎でもレクなどを通してさらにクラスの仲が深まったと思います。多くの方々のおかげでとても充実した実習を送ることができました。



2年生 理数科 課題研究発表

2年生理数科が1つの研究テーマを1年間かけ、少人数のグループで研究を行ってきました。研究の成果は冊子としてまとめるとともに、発表会を行い、プレゼンテーション能力を高めています。1グループ10～12分間で発表を行い、その後も活発な質疑応答となりました。予選では、10グループを2会場に分けて発表を行い、以下の4グループが本選へと進みました。今回の本選は優秀な研究・発表ばかりで、最優秀賞が2グループとなり、決着は鳥取県高校生理数課題研究等発表会（鳥取市）へ持ち越しとなりました。

* 1月21日（火）校内予選 * 1月28日（火）校内本選
* 2月9日（日）鳥取県高校生理数課題研究等発表会（鳥取市）



校内本選

鳥取県におけるクロガケジグモの さらなる分布拡大と生活史の研究

校内本選

最優秀
発表賞

片山 桜介・倉本 大地・長石 翔



クロガケジグモはオーストラリア原産の外来種のクモで、ガードレールなどにぼろ布のような巣を張ることで知られている。1990年代に大阪から日本に侵入し、先行研究により鳥取県内の侵入と定着が確認されていた。今回の課題研究では、先行研究を継承する形での分布範囲の確認と、クロガケジグモの行動リズムや、クロガケジグモが糸を引く方法など、クロガケジグモの生態、生活史に関する調査を行った。結果としてクロガケジグモの分布が、以前の調査と比べあまり広がっていないことや、これまで鳥取県で未確認だったオスの亜成体の確認などを行うことができた。

DNA (RNA) 塩基の高分子化 による新素材の開発

校内本選

最優秀
発表賞

小谷 一貴・田中 悠暉・鳥飼 琴葉
中谷 真緒・森田 紗和



現在、世界で大量生産・大量消費による廃棄物の増加が問題となっている。特にプラスチック製品などの難燃物が自然で分解されないことが生態系の破壊につながっている。また、燃やして処分することで環境にも影響を与えている。そこで私たちは生分解性プラスチックであればこれらの問題が緩和されるのではないかと考えた。生分解性プラスチックを合成するために研究を行ったところDNA (RNA) 塩基を用いた新素材を作ることができた。

鳥取県高校生理数課題研究等発表会 口頭発表 最優秀賞

人為的活動がササラダニに 与える影響

校内本選

優良
発表賞

大原 夏花・野澤 大翔・福嶋 玲香
森下 創・吉川 華



最近、道路の拡張・太陽光パネルの設置等、田畑が減少してきている。こういった人為的活動によって、植物等が減っていくのは目に見えて分かるが、もちとミクロの世界、例えば微生物（分解者）が多く存在する土壤中に与える影響はないのかと疑問に思った。そこで私たちは環境指標でもあるササラダニを用いて影響を調べるとともに、鳥取県のササラダニ相を明らかにしようと考えた。本研究では、21科46種のササラダニ類が抽出され、人為的活動が小さいほど個体数・種数ともに多くなることから、土壤中にも人為的活動が影響しているという傾向をつかむことができた。

筒型紙飛行機の形状と飛行について

校内本選

優良
発表賞

尾崎 海斗・菊川 敢太・高垣 新生



紙飛行機は、折り方や投げ方を工夫することで、飛行距離や飛行速度、飛形などを変化させることができる。本研究は、紙飛行機の形が筒であるものについて扱った。筒型の紙飛行機は、一般的な紙飛行機よりもゆるやかに下降し、飛行が安定している。そこで、さらに飛行を安定させるために、形状や重さを変え、飛行がどのように変化していくかを調べることにした。

鳥取県高校生理数課題研究等発表会 ポスター発表 最優秀賞

他にもたくさんのチームが様々な研究を行いました！！

- 「四つ葉のクローバーの発生」 ●「VBAで二次方程式」
- 「スペクトルと偏光の観察」 ●「ミルククラウンの研究」
- 「ババ抜き確率」 ●「焼成貝殻粉末の抗菌作用～菌を捕ふる者」

吹奏楽部の総力を上げ、OB・OGのみなさんと共に作り上げてきた定期演奏会！
ぜひご来場いただき、音楽の迫力、楽しさをご体感ください！

鳥取東高等学校 吹奏楽部 第47回 定期演奏会

■ 2020年3月29日（日）13時30分開場 ■ 鳥取市民会館 大ホール 入場無料

□ 曲目紹介

第1部・2020年度 吹奏楽コンクール課題曲

・OTHELLO

・トロンボーンフィーチャー 他

第2部・ジュピター

・サンバ・テンペラード

・平成大ヒットメドレー 他

12月以降の各種大会結果

○柔 道

第42回全国高等学校柔道選手権大会鳥取県大会(12/14~15)

- ・男子団体 **優勝 全国大会出場(3/21~22)**
 - 牧浦 太陽(2-2)・小林 晴(2-7)・田口 英永(1-1)・田中 直翔(1-5)・原田 盛悟(1-6)
 - ・男子個人
 - ・60kg級 原田 盛悟(1-6) **優勝 全国大会出場**
 - ・81kg級 小林 晴(2-7) **優勝 全国大会出場**
 - ・無差別 牧浦 太陽(2-2) **優勝 全国大会出場**
 - ・女子個人
 - ・63kg級 三橋宥利亜(2-1) 第2位
- 鳥取県柔道選手権大会(2/2)
- ・男子個人
 - ・無差別 小林 岳(3-1) 第3位 **中国地区大会出場**

○バスケットボール

鳥取県高等学校バスケットボール新人大会(1/11~13)

- ・男子 2回戦進出
- ・女子 第4位

○バレーボール

全国高等学校新人バレーボール大会(1/17~18)

- ・男子 予選リーグ敗退
- ・女子 第5位

○卓 球

第47回全国高等学校選抜卓球大会鳥取県予選会(12/15)

- ・男子ダブルス
 - 岸本 康汰(2-7)・田中 翔(1-3)組 ベスト16
- ・男子シングルス
 - 田中 翔(1-3) ベスト4
 - 原田 喜耀(2-5) ベスト32
 - 岸本 康汰(2-7) ベスト32

○フェンシング

第3回鳥取県エペ&サーブル杯(2/2)

- ・女子個人 エペ 八木 雪乃(1-3) **優勝**

○書 道

第51回県高校書道展(12/19~22)

- ・森田 真緒(2-2) 連盟賞 **令和2年度全国高等学校総合文化祭出品**
- ・見生 七菜(2-5) 連盟賞

第28回国際高校生選抜書展(1/28~2/2)

- ・団体 中国地区優秀賞
- ・個人 西尾かの子(3-2) 優秀賞

○将 棋

第18回中国地区高等学校将棋選手権大会(12/14~15)

- ・女子個人 澤田 涼風(2-1) 第5位

第28回全国高等学校将棋新人戦(2/6~8)

- ・女子個人 澤田 涼風(2-1) 出場

○演 劇

鳥取県東部地区高等学校演劇新人発表会(2/8~9) 出場

○ソフトテニス

第10回中国高等学校ソフトテニス新人大会(1/17~19)

- ・男子団体 予選リーグ敗退
- 第38回鳥取県高校インドア選手権(2/1)
 - ・國本 凌(2-3)・坂本 篤祥(2-2)ペア 準優勝

○水 泳

第40回鳥取県室内選手権水泳競技会(12/9)

- ・男子個人
 - 岡垣 健(1-5) 50m自由形 3位
 - 高田 暖大(1-5) 200m平泳ぎ 7位
 - 田中 海地(2-2) 100m平泳ぎ 3位
 - 200m平泳ぎ 5位
 - 猪山 智久(2-3) 50m自由形 5位
 - 100m背泳ぎ 5位
 - 200m背泳ぎ 6位
 - 大西 翔(2-3) 100mバタフライ 3位
 - 200mバタフライ 6位
 - 吉尾 祥(2-6) 100m個人メドレー 4位
 - 細田 賢汰(2-7) 100m背泳ぎ 6位
 - ・女子個人
 - 本田 志帆(1-1) 200m自由形 **優勝**
 - 200m個人メドレー **優勝**
 - 澤 杏沙(1-2) 100m背泳ぎ 3位
 - 200m背泳ぎ 4位
 - 奥田 虹聖(2-2) 200m個人メドレー 5位
 - 400m自由形 4位
 - 山本 菜月(2-4) 100m自由形 **優勝**
 - 200m自由形 2位
 - 森田 紗和(2-7) 50m自由形 7位
- 第37回島根・鳥取両県対抗水泳競技会(2/2)
- ・女子個人
 - 本田 志帆(1-1) 200m自由形 **優勝**
 - 200m個人メドレー 2位
 - 200m平泳ぎ 3位
 - 山本 菜月(2-4) 100m自由形 5位
 - 200m自由形 3位

○美 術

第34回鳥取県高等学校総合文化祭美術・工芸展(12/14)

- ・西川 郁実(2-6) 学校奨励賞

○放 送

第5回中国地区高校放送コンテスト

ならびに校内放送活動研修会鳥取県大会(2/1~2)

- ・オーディオピクチャー部門 奨励賞
- ・朗読部門 坂本実伽恵(2-2) 奨励賞
- 藤井 希望(1-7) 奨励賞

○吹奏楽

第42回全日本アンサンブルコンテスト鳥取県大会(12/14)

- ・サクソフォン四重奏 銀賞
- ・打楽器三重奏 銀賞

ねこおやじ君 by ねこすけ





「18歳意識調査」に思う

三年文化広報部員 小椋 誠

「18歳意識調査」というものが実施され、先日その結果が公表されました。これは、日本財団が2019年の9～10月にかけて世界9カ国（インド・インドネシア・韓国・ベトナム・中国・イギリス・アメリカ・ドイツ・日本）の17歳～19歳の各国男女1000人に行ったインターネットアンケートという事です。

この調査によると日本の若者は、調査した他のどの国々よりも「自分に自信がなく、内向きで、将来に希望を持っていない」ということのようにです。国情的違い、調査手法がインターネットであることなど、「そもそも信頼に足る調査なのか」という点はあるにしても、なんとも切ない話です。高齢化の進展や人口減少、社会保障の行く末、エネルギー問題など、不安要素ばかりで明るい未来が描けないという事なのかも知れません。

ただ、いつもこの種の意識調査や報道に触れると、無駄に不幸を煽っているような気がしてなりません。今回の調査も日本の非営利組織が行ったものであり、日本人向けに「最初から結論を想定した調査」ではないかとも感じます。

将来のこと健康のこと家計のことなど、そもそも人生に不安は常につきまとい、なくなるものではないし、不安だからこそ努力したり慎重になったり、逆に挑戦したりという面もある

のではないかと思います。

これから社会に出ていく若い人たちは、前向きな気持ちで滞らせるような言説に惑わされず、しっかりと前を向いて生き抜いてほしいと思います。

卒業によせて

三年文化広報部員 大野 弥生

思い起こせばこの縁は、入学しての春夜の一本の電話から始まった。

頼まれたらNOと言えない性格から《東高PTA評議員活動》が私の24時間に加わり少々忙しくなった。東高通信の改革に暗中模索、試行錯誤、紆余曲折！それを仲間と力を合わせて超えてきた。思いの強さと労わり合いそして何より《笑い》がいつもあった！まるで《大人の部活動》を生徒のみなさんと同様、本気で楽しませてもらった。そして終わらない友情も得た。

しかしそれも2020年3月号で私の文化広報部生活、校丁を迎える。卒業です。（一年目に目標に掲げた《永久保存版・鳥取東高通信》は達成したであろうか？）

思うに……一生のうちに会える《人》の数は自分が望めば限りなくあり、出会える《もの》の数も限りなくある。その《人》と《もの》こそが自分の一生を豊かにし、変化を運んで来る。そう感じている。だからこそ、いい歳になった今でも自ら望んで出合いを求め、変化を恐れず、人を大切にし縁を繋いでいく人生を送り続けたいと思う。そして、素直に自分がまだまだ無知であることを知る勇気を持ちたい……私も東高でそのようなことを学び、卒業だ！

最後に、《鳥取東高通信》作成にあたり、たくさんの方に御協力をいただき心から感謝いたします。御不満な点多々あったかと思いますが、素人作成と言うことで、寛大な御心でお許し

東高での三年間

三年文化広報部員 山田 康子

入学式、尾室校長先生が両手を広げ、「ようこそ、鳥取東高へ」と熱い歓迎の挨拶から始まり、校門前の満開の桜の下、慣れないスマホで写真を撮ったことがこの前のようです。それまでの小さな学校からクラスに一人も知り合いがない中で、勉強、部活、学校生活を娘なりに毎日よく頑張ってきたと思います。新たな友人、先生との出会い、学校行事など、様々な出会いと経験を重ね、よき青春の高校生活を過ごせたこと、親として嬉しく思います。ここまで支えてくださった先生方に感謝の気持ちで一杯です。センター試験前日、先生方からの応援メッセージを目にし、言葉ひとつとつが心にしみ、親子ともに張りつめていた緊張の中、本当に心の支えとなりました。東高では、高橋先生との思い出も忘れることができません。同級生のよしみで、学校行事で会うたび、声をかけてくれ、情熱を持って子どもたちを叱咤激励してくれた高橋先生。悲しみはいえませんが、きつとずっと空の上から見守ってくれていると思います。卒業しても、「雨垂れ石を穿つ」の魂を忘れず、自分の道を歩んでほしいと願います。夢実現のために……

三年間を振り返って

三年文化広報部員 中田 倫子

入学式の日に桜の木の下で写真を撮ってから三年間はあつという間に過ぎ、あと少しで卒業です。

息子が中学三年生の弟に東高の良さをいろいろと話しているのを聞いて

た時、充実した高校生活を過ごせた証だなと感じ嬉しくなりました。

私はPTA活動で文化広報部を三年間させていただき、最後の東高通信の原稿を書きながら寂しさが込み上げています。三年前までの私はPTA役員は苦手で極力したくないと思っていましたが、東高で文化広報部をさせていただきながら、先生方、保護者同士との関わりの中で私自身学ぶことがとても多かった三年間でした。

取材として高校総体、東高祭など、子どもたちの間近まで潜入し、あらゆる場面の写真を撮り東高通信の発行に携われたこと、今まで撮った写真は消すことができず私の宝物となりました。

息子のこれからの人生に向けて貴重な三年間、東高で得たことを大事にして夢に向かって羽ばたいてほしいと願っています。

絆

三年文化広報部員 安藤 直子

「三益友」。息子が高校入学前、義父に贈られた言葉です。「論語」にある言葉ですが、正直な人・誠実な人・知識の豊かな人を友とするのは有益であるといっています。息子に聞いかけています。「三益友」見つけましたか？自ら友人の益となる人になれましたか？友人にとって害を与える人となっていないですか？

彼にとって三年間の高校生活は上手いかない事の方が多くありました。その為、卑屈だったり後向きな言動をすることもありました。親としても見ていて辛かったです。しかし、最近では周りの才能豊かな友人達の影響からか、何かを始めたいとか挑戦したいなど、前向きな言葉が聞こえるようになってきました。

高校生活は終わりますが、人生はまだまだこれから。今後は自身が正直、誠実そして多聞な三益ある人になって欲しいと願っています。

東高のつながりに感謝

三年文化広報部員 森本美也子

「もう卒業？」そんな言葉に胸がいつぱいになります。

ある日、息子がいない部屋をのぞくと、机の上に東高に通った思い出の写真や手紙、受験に向けて必死で取り組んだ参考書やノート、タンスの中には部活が入っていて、一年一、通い続けた形跡がとてほろろと感じました。今までの中で一番悩み、苦しみました。信頼できる友人、信頼できる先生方に支えてもらい、一つ一つ懸命に闘っている息子の姿が頼もしくも感じました。そして、息子同士の繋がりが通し、たくさんの保護者と出会うことができた。息子の楽しい経験をさせてもらいました。東高での出会い、繋がりに感謝の気持ちでいっぱい。何事にも前進あるのみです。東高での経験は息子にとっても私にとっても宝物になりました。卒業おめでとう。

鳥取東高通信180号に写真、原稿等でご協力いただいたみなさまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。文化広報部一同

令和元年度卒業生

卒業

祝

